



# 北海道新幹線ニュース

2013.1 発行

## ◇ 北海道新幹線概要

工事延長 211.7 km

経過地 北斗市、厚沢部町、八雲町、長万部町  
黒松内町、蘭越町、豊浦町、ニセコ町  
俱知安町、仁木町、赤井川村、余市町  
小樽市、札幌市（14市町村）

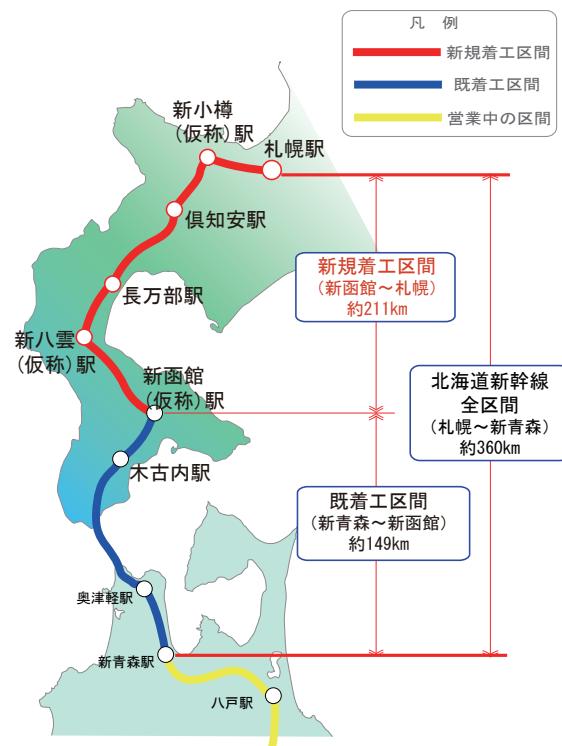
設置駅 新函館（仮称）、新八雲（仮称）、長万部  
俱知安、新小樽（仮称）、札幌

基本構造 最高設計速度 260km/h

最小曲線半径 4,000m

最急勾配 35% (3.5%)

事業期間 平成24年度～平成47年度



## ◇ 市内ルート図



### ◎ ルートの概要

区間① 札樽道、国道5号、中の川、二十四軒手稻通の下をトンネルでくぐり、  
西宮の沢地区で地上部に出ます

区間② 発寒駅付近から函館本線の南側に沿って高架構造で札幌駅に至ります

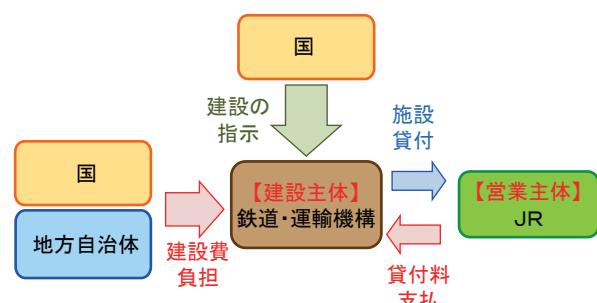
区間③ 札幌駅から苗穂駅西側までは高架構造の車両基地を設置します

## ◇ 建設手法

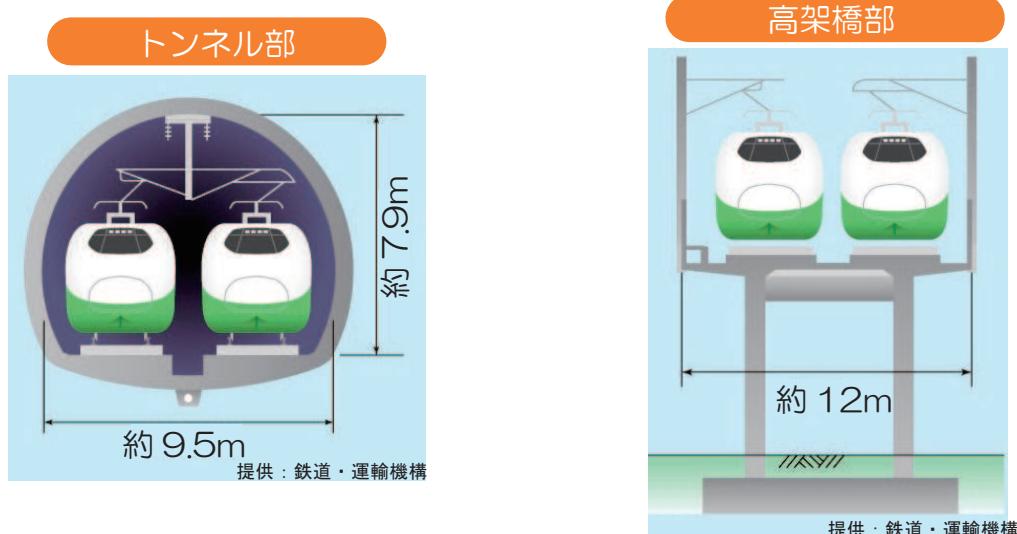
整備新幹線は、鉄道・運輸機構が国から建設の指示をうけて事業を行います。

工事完成後は、高架橋などの施設をJRに貸付け、JRが新幹線の運行を行うとともに、機関に対し貸付料を支払います。

建設費用は、貸付料充当分を除く事業費について、国が2/3、地方が1/3を負担します。



## ◇ 標準断面図



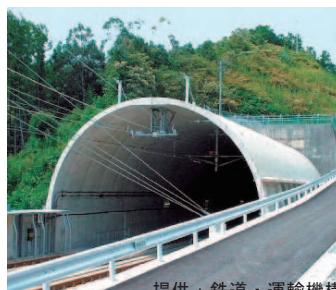
## ◇ 環境対策

### 騒音対策



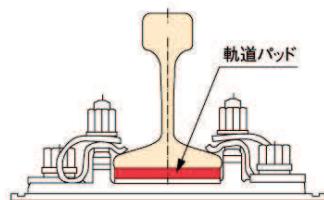
列車速度や構造物の高さなどを考慮して、防音壁の高さや形状を決定します。このほか、ロングレール化などの対策を実施しています。

### 微気圧波対策



新幹線が高速でトンネルを通過するときに発生する”ドン”という音（微気圧波）を減少させるため、緩衝工を設置しています。

### 振動対策



提供：鉄道・運輸機構

必要に応じて在来線等で使用されているものよりも柔らかな素材を使用した軌道パッドを採用し、振動の低減に努めます。

## ◇ 補償の考え方

### ①用地・建物

- ・土地、建物の補償にあたっては、適正妥当な補償が行われるよう、国の補償基準等に基づいて対応させていただきます。

### ②電波障害

- ・構造物の施工の進捗や試験走行により電波障害が発生した場合は、早急に応急措置を取り、開業前までに恒久的な対策を実施します。

### ③騒音・振動

- ・環境基準値内に収まるよう発生源対策を行います。発生源での対策が難しい場合には、個別に対策を行う場合もあります。

### ④地盤沈下等

- ・現地の地質に合った工法を選択し、影響を出さないことを原則とします。影響の有無については、工事着手の前後で家屋等の調査を行って確認します。

## ◇ 事業の進め方

### 新幹線建設工事フロー



提供：鉄道・運輸機構

### ～キーワード～

**地元説明会**とは  
事業概要の説明と、今後行う測量・調査へのご協力のお願いをします。札幌市内では平成24年11月に実施しました。

**中心線測量等**とは  
土地の高さや土地利用の状況、地質等について調査をいたします。中心線とは設計や各種調査の基準となる線で、新幹線ルートの中心となります。

**設計協議**とは  
構造物の大まかな設計（概略設計）を行う際に、設計条件について関係機関と協議を行うほか、設計の素案について地域の皆様へ説明し、ご意見を伺います。

**用地幅杭建植**とは  
設計に基づき必要な用地の幅を示す杭を現地に打ちます。建植前に、用地取得にかかる説明会を実施します。「ようちはばぐいけんしょく」と読みます。

**工事説明会**とは  
工事施工業者より、具体的な工事の施工方法について説明を行います。

## ◇ 今後の予定

地質調査 平成24年12月着手

測量 平成25年4月着手予定

※設計の素案については、構造物のおおまかな設計が終了し次第、ご説明させていただきます。

新幹線整備事業についてのお問合せ先

鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局

総務課 電話 011-231-3456



さっぽろ市  
05-08-12-1417  
24-5-385

新幹線ニュース発行者  
札幌市市民まちづくり局新幹線推進室（担当：新沼）  
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目  
TEL 011-211-2378 FAX 011-218-5112